外部評価申請書

平成　　年　　月　　日

厚生労働省関係研究機関動物実験施設協議会

会長　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 飼養保管施設の名称 |  |
| 飼養保管施設の所在地 |  |
| 動物飼育区域の総面積(平方ﾒｰﾄﾙ) |  |
| 飼養保管施設の総数 | 箇所 |

上記により動物実験実施施設認証を申請します。

　　　年　　　月　　　日

住　所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

氏　名（法人にあつては、名称及び代表者氏名）

（担当者連絡先）

　所属部署

　氏名

　連絡先 TEL:

E-mail:

（注意）

１　動物飼育区域は、搬入室、検疫室、馴化室、飼育室、処置室、飼料・飼育器材保管室、洗浄室、前室、後室、廊下等飼育施設及び関連施設をいうものであること（機械室等は除く）。

２　担当者連絡先欄には、動物実験実施施設認証申請に係る内容に関する照会も含めて対応可能な担当者の所属部署、氏名、電話番号、メールアドレスを記載すること。

３　飼養保管施設の総数には、一時的な保管をする実験室は含みません。

**Ⅰ．動物実験に関する組織**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機関長 | 職名　　　　　　　　　　氏名 | | |
| 実験動物管理者 | 職名　　　　　　　　　　氏名 | | |
| 動物実験委員会 | 職 名 | 氏 名 | カテゴリー\* |
| 委員長 |  |  |  |
| 副委員長 |  |  |  |
| 委 員 |  |  |  |
| 委 員 |  |  |  |
| 委 員 |  |  |  |
| 委 員 |  |  |  |
|  |  |  |  |

委員の数に応じて、表の行を増やしてください。

\*動物実験委員会のカテゴリー欄には厚生労働省、文部科学省、農林水産省の基本指針で定められた以下の委員構成の番号を記入して下さい。

① 動物実験等に関して優れた識見を有する者

② 実験動物に関して優れた識見を有する者

③ その他の学識経験を有する者

**Ⅱ．機関における動物実験の概要**

１．動物種毎の最大飼育可能数および飼養数（直近1年間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 動物種 | 年度 | |
| 最大飼育可能数 | 飼養数 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

　　　　　　　　　　　　　　　（　　　年　　月　　日　現在）

飼養数は、特定の日に飼育されていた数を記入して下さい。

最大飼育可能数は、マウスおよびラットはケージ数でも構いません。

動物種の数に応じて、表の行を増やしてください。

２．動物実験計画数（直近3年間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 動物実験計画書数 | 年度 | 年度 | 年度 |
| 承認数 | 件 | 件 | 件 |
| 非承認数 | 件 | 件 | 件 |

３．教育訓練の開催回数および受講者数（直近1年間）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 開催日時 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 受講者数 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |

足りないときは欄を増やしてください。

４．実験室の現況

　実験室とは、飼養保管施設以外で一時的に実験動物を保管する場所です。移動後すぐに実験をする場合も同様です。実験室がない場合は、該当無しと記載して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実験室の場所 | 責任者の職・氏名 | 動物種 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

５．動物実験に関する情報公開

|  |
| --- |
| 当該情報の公開場所（URL）:  情報公開している項目： |

６．特記事項

（動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情）

|  |
| --- |
|  |

７．飼養保管施設の平面図（別紙で添付しても可）

８．実施機関の長、動物実験委員会およびその他関連委員会との関係がわかるフローチャート（別紙で添付しても可）

事前提出書類チェックリスト

　事前提出書類には通し番号をつけ、最初のページに目次をつけて、厚労動協外部評価委員会事務局宛に送ってください。特段の理由がない限り、下記のファイルは事前に送ってください。

フォームの始まり

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 規定等 | 有 | 無 |
| 1. 機関内規程 |  |  |
| 2. 動物実験実施に関わる細則（委員会の細則等を含む） |  |  |
| 3. 特殊実験に関する安全規定（病原体の取扱い、毒物及び劇物の取扱い、遺伝子組換え動物の取扱い等を定めたもの） |  |  |
| 4. 動物実験施設の利用法、飼育管理の方法等を定めたマニュアル等（手順書、標準業務手順書（SOP）） |  |  |
| 5. 動物実験施設における災害対応マニュアル |  |  |
| 6.その他の規定等（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 記録類 | 有 | 無 |
| 7. 動物実験委員会議事録 |  |  |
| 8. 現在承認されている動物実験計画書の課題名、実験責任者、使用動物の一覧 |  |  |
| 9. 動物実験計画書とその審査記録、および承認書 |  |  |
| 10. 飼養保管施設置承認書（実験室がある場合は実験室の設置承認書） |  |  |
| 11. 教育訓練に使用している資料等 |  |  |
| 12. 教育訓練出席者名簿 |  |  |
| 13. 動物種毎に定めた麻酔法、安楽死法、鎮痛処置又は術中・術後管理に関する手順書 |  |  |
| 14.自己点検自己評価報告書（厚労動協が指定した書式） |  |  |
| 15. 情報公開している項目（HPで公開している場合は不要） |  |  |
| 16. 動物実験施設のセキュリティーに関する記録（入退記録等） |  |  |
| 17. 飼育管理日報（動物搬出入記録、飼育管理に関する記録等） |  |  |
| 18. 保守点検記録（オートクレーブ、空調、HEPAフィルター交換、安全キャビネット等） |  |  |
| 19. 向精神薬試験研究施設設置者登録書（向精神薬を使用している場合）、麻薬研究者登録書（麻薬を使っている場合） |  |  |
| 20. 特定外来生物飼養許可書、家畜伝染病予防法に基づく定期報告書等（該当する生物を飼育している場合のみ） |  |  |
| 21. 動物実験施設概要がわかる写真 |  |  |
| 22. 外部委託に係わる確認の記録 |  |  |
| 23.その他の記録等（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |

[注意事項]

1. 改訂作業中である場合は、改定前と改定後（案）の両方を提出してください。
2. 自己点検自己評価の根拠書類は可能な限り提出してください。
3. 記録類については、直近1年間、あるいは前年度分を提出してください。
4. 16および17の書類については、1ヶ月程度（時期は任意）の記録を提出してください。
5. 10の書類については、飼養保管施設あるいは実験室が機関の長の承認を受けていることがわかる書類を提出してください（直近1年以内でなくても可）。
6. 21の書類については、各動物の飼育室および飼育状況、洗浄室、セキュリティ対策、逃亡防止措置、安全対策等がわかる写真を添付してください。（添付した例をご参照ください）
7. 提出にあたって、機関の文書公開上制約がある場合は､その旨理由を明示してください。
8. 提出書類については、メール添付以外に、郵送でも受け付けます。送付先のアドレスは、厚労動協HPをご覧下さい。